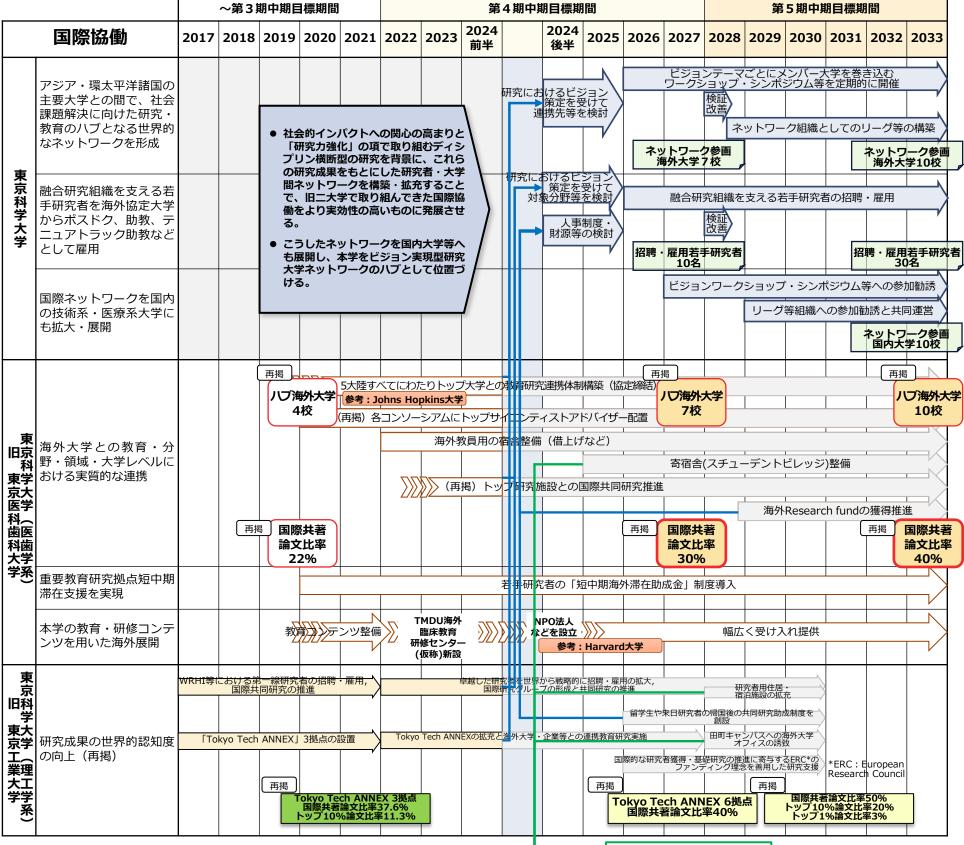
Institute of 東京科学大学 指定国立大学法人構想 **SCIENCE TOKYO** ~第3期中期目標期間 第4期中期目標期間 第5期中期目標期間 2024 2024 研究力強化 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 前半 後半 融合研究組織対象 ビジョンの拡大 融合研究組織対象 3ビジョン ビジョン実現に向けて基 礎研究からその成果を具 トップダワンによる 融合研究組織設置 準備 アップダブブによる 融合研究組織の発展 体的価値として社会に届 統合を機に醸成された「コンバージェ けるところまでをシーム ンス・サイエンス」創出の気運を活か 国際的融合研究推進のための環境整備 し、旧二大学の取組を発展させて、社 レスに実施する融合研究 人事を含む制度設計と 学内コンセンサス醸成 東京科学大学 会の課題解決あるいは社会を豊かにす 組織 ボトムアップによる融合研究組織設置 るために必要なディシプリン横断型の 研究領域を抽出する組織と、それを柔軟に実現するための研究組織の構築を 分析 分析 分析上結果 行うことで、ビジョン実現に向けて基 礎研究からその成果を具体的価値とし 抽出・分析組織の設置と 運営、分析結果 ・政策等の発信 準備 抽出・分析組織の発展 社会課題解決に必要な研 て社会に届けるところまでをシームレ 究領域の抽出と分析を行 スに実施していく。 国内外のシンクタンク等との連携 vクタンク人材養成プログラムの検討 シンクタンク人材養成プログラム実施 研<mark>究評価会議(仮称)」新設</mark> 全学的研究戦略立案と進 **評価・** 助言 开究戦略会議」強化 捗評価・助言 助言反映 助言反映 助言反映 助言反映 ハブ海外大学 4校 ハブ海外大学 7校 ハブ海外大学 各重点研究領域の研究推進 10校 各重点研究領域を 国際研究拠点化 硬組織・口腔科学連携体制構築 重点研究領域研究の推進 助言 旧京 各重点研究領域に国内外トップサイエンテ - アドバイザー配置 科東学 トップ研究施設との 共同研究推進 Top10%論文 数201 TOP10%論 文数2倍 京大医学 M&Dデータ科学センター新設 タ療データ活用プラットホーム構築 メディカルデータ集積拠点形成 先端医歯情報科学研究拠 歯医 点の創成 参考: Johns Hopkins大学 「Young Investigator Support Center」 (YISC) 新設 参考: Imperial College London サポート 科歯 キュベーションスペース(仮称)| 新設 大学学系 トップサイエンスイン 若手研究者を 卓越大学へ輩 出50名 キュベータ機能強化 選抜 医歯エガイ ~次世代研究者育成ユ PI(テニュア) ニット~ エンティストがアドバイザー 海外ト 「領域横断 研究 連携部 文理融合型研究の推進 四大学連合等との 連携強化 大学間連携研究加速 門(仮称)」 (大学関連系研究) 研究の重点分野の設定, 「ゼロカ 研究所」の設置 D状l点化を通じた研究推進 育を世界から戦略的に招聘・雇用の拡大, でプレープの形成と共同研究の推進 WRHI寺における第一線研究合い。 国際共同研究の推進 研究成果の世界的認知度 の向上 留学生や来目研究者の帰国後の 共同研究助成制度を創設 Tokyo Tech ANNEXの拡充と海外 「Tokyo Tech ANNEX」3拠点の設置 「東上大の研究力」等 の発信 Tokyo Tech ANNEX 3拠点 国際共著論文比率37.6% トップ10%論文比率11.3% 国際共者論文比率50% トップ10%論文比率20% トップ1%論文比率3% Tokyo Tech ANNEX 6拠点 国際共著論文比率40% 京旧科 <mark>領域推進体による戦略</mark>分野の研究推進 未来社会に向けた戦略分野の深化 戦略的に選定された領域に特化した 基盤研究センターの設置 東大 京学 新規・融合分野の研究領 域の開拓 「研究ユニット」等に対する資源配分を通じた新 文理 大工学 学 *ERC : European Research Council 开<mark>て 幾相による研究者が研究に集</mark> 外で Dd 鑽等を通じた若手研究者 ・(逆研究機構」の設直, 人材育成ノロクラム 新研究挑戦奨励金制度の開始 スタートアップ支援 2000万円〜 外部資金等で自立した 研究ユニット15拠点 外部資金等で自立した 研究ユニット6拠点 外部資金等で自立した 研究ユニット10拠点 イニシアティブに関連研究者を集中、カーボンニュートラル在 目指すGX研究の推進 「多元レジ 「脱コロナ禍研究プロジェクト」による研究推進 新たな領域の知の社会実 水東来 ・ をデザインする「未来社会DESIGN機構」の活動の推進 「未来社会DESIGN研究センター」の設置,総合知/RRIによる研究の進化, デザイン教育等を推進 社会と共に"ありた 装等の社会連携活動の強 ントレプレナーエコシステムを強化する Tech-orientedビジネススクールの設置 「イノベーションデザイン機構」の設置、大学連携・VC連携により、 世界を変える大学発スタートアップを育てる収組の推進 田町キャンパス再開発を通じた大規模 インキュベーション施設への発展・支援の強化 ファンド,東工大基金「学生スタートアッ 援」「スタートアップ支援基金」を開始 「国際協働」の取組に包含 「ガバナンス強化」の取組に包含 「社会連携」の取組に包含 1

東京科学大学 指定国立大学法人構想 **SCIENCE TOKYO** ~第3期中期目標期間 第4期中期目標期間 第5期中期目標期間 2024 2024 人材育成・獲得 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 前半 後半 (学士課程) 男分野を学ぶ プロク<mark>ラム設置準備</mark> (学士課程) 専門に加え異分野を学ぶ プログラムを整備 異分野を学ぶ プログラム順次開設 「研究力強化」の項で取り組むディシ プリン横断型の研究を舞台として、特 に大学院教育における旧二大学の取組 東京科学 全学生が異分野を学ぶ プログラムに参加 融合研究組織への転換に を発展させ、こうした領域を先導でき 合致した教育プログラム (博士課程) 新たな教育体系へ移行 る人材を育成するとともに、社会的イ (大学院課程) 融合研究組織が実施する 究を背景としたビジョン実現型の 新たなコース設置準備 の立ち上げ ンパクトへの関心が高まっている気運 を活かして、世界から優秀な人材の獲 / | (修士課程) |新たな教育体系への移行準備(2034年度移行) 得を日指す。 博士課程を新たな 教育体系へ移行 修士課程を新たな 教育体系へ移行 卓越大学院生 制度 10名支援 卓越大学院生 制度 5名支援 卓 越 し た Clinician Scientist育成システムの 「卓越大学院生」 後期刑修四末キャリア) > 選扱 次世代研究者育成ユニット 選考 Top of top PI(テニュア) 構筑 参考: Harvard大学 **選拔** 草越大 学院生 学部入学 「研究実践プログラム」拡充(学部) 臨床研修(臨床キャリア) 東旧京 科東学 大学院のデータサ<mark>イ</mark>エンス教育の高度化・ アントレプレナー<mark>シ</mark>ップ教育・ELSI教育の充実 大学発 ベンチヤ・ 5社 大学発 大学発 M&Dデー 京大医学 世界をリードするメディ 50社(10倍) 20社(4倍) 新設 学部のデータサイエンス教育の高度化・アントレプレナーシップ教育実施 カルデータサイエンティ ストの育成 歯医 (後述) 「統合イノベーション機構(仮称)」による起業支援 **科技学系** アドバンストリカレント教育の充実 〉〉〉〉 研究型教・教<mark>分離</mark>を導入、柔軟な人事配置を実施 多面的かつ柔いよい価・支援体制を整備 教育・研究環境の訴求力 の向上 ダイバーシキ (外国人・女性研究者支援) (再掲)研究に向けるのである学生の教育研究環境を構築 「B2Dスキーム」による教育実施 (1st Phase 9年間) 発展版「B2Dスキーム」実施 シップ教育院」による教育 授業科目等を各種プログラムに提供 施 「物質・情報卓越教育院」の設置 卓越教育院(こ 教育実施 ょる・ 改善と定着 「超スマート社会卓越教育院」の設置 「エネルギー・情報卓越教育院」の設置 企業との共同研究 の下での博士学位 取得のための 実施基準」制定 い仕組みによる社会人博士学生の受け入れ促進 学士課程高学年(上子 前的な英語教育の導入 土課程修了までに 日 発学駅 を経た学生の割合を90%以上 大学院授業の90%以上を英語化 学生海外派遣の強化 修士課程修了までに を経た学生の割合を90%以上へ 京旧科 ダブルディグリー・ジョイン ディグリーの拡充準備 Student-centered 東大 京学 アントレプレナーシップ教育の充実 系アントレプレナーシップ全学教育の革新 learningの実現と多様な 学生・教員の獲得 -|分野を系統的に学修するプログラムを学士課程にも開設,教育実施 業理 生の声を活かした学修環境の向上 すずかけ台図書館改修等, 学修支援・学生交流環境の第 学生に対する経済的支援の充実と定着 学生に対する経済的支援, 女子学生支援の拡充 「融合理工学系国際人材育成プログラ 理工系教養科目や専門科目の 英語開講に係る外国人教員の配置 | |全生を含む学生同士の切磋琢磨を |一トできる外国人教員・女性教員の増加 海外拠点も活用して世界から優秀な学生を獲得 キャンパス 整備と連動した高大連携教育の高度化 附属高校派 舎建設・移転 **外国人留学生比率2** 外国人留学生比率25% 外国人等教員比率30% Employability Ranking で世界トップ10 外国人留字生比率22.2% 外国人教員比率24.3% 「研究力強化」の取組に包含 「ガバナンス強化」の取組に包含 「国際協働」の取組に包含 「社会連携」の取組に包含

Institute of

東京科学大学 指定国立大学法人構想 工程表





「ガバナンス強化」の取組に包含

Institute of 東京科学大学 指定国立大学法人構想 **SCIENCE TOKYO** ~第3期中期目標期間 第4期中期目標期間 第5期中期目標期間 2024 2024 社会との連携 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 前半 後半

Institute of 東京科学大学 指定国立大学法人構想 **SCIENCE TOKYO** ~第3期中期目標期間 第4期中期目標期間 第5期中期目標期間 2024 2024 ガバナンス強化 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 前半 後半 運営方針会議からの助言を受つつ社会の求めるものと 国立大学としての矜持のバランスの下に総合戦略を策定・改定 理事長・学長の緊密な協 議による総合戦略の策定 分析 結果 分析 結果 分析結果 分析結果 抽出・分析組織による社会課題解決に必要な研究領域等の分析 社会との対話を通して人々を巻き込む施策の実施 統合を機に取り入れた一法人一大学と しての「理事長・大学総括理事(学 理事長による「好循環シ 東京科学大学 解決すべき社会課題の抽出とそれを通した成長戦略の策定 長)」制を活かし、これまで旧二大学 が実施してきた高度なガバナンスをさ ステム」の駆動とそのた 法人の成長に必要な資源の獲得・運用方針の策定 らに発展させて、学長による資源の適 切な配分によるアウトカムの最大化、 それに基づく理事長による法人の成長 めの社会連携の先導 検証 改善 と資源の拡大という「好循環」を実現 再掲 再掲 するための法人経営・大学運営を強力 融合研究組織対象 3ビジョン 融合研究組織対象 ビジョンの拡大 に推し進める。 学長によるディシプリン 融合研究組織設置、研究・人材育成の推進のガバナン 横断型の研究組織の設置 研究の推進と人材育成、 総合戦略に基づく学内資源配分 それらに必要な学内の資 人事制度を含めた制度改革 源配分 検証 改善 機構長、部局長の役割・権限・責任 統合機構の強化 参考: Imperial College London 旧京 ョン機構(仮称)」を新設 「統合イノベ 東京医院 発展型シンクタンクの構 「発展型シンクタンク 在り方検討 築 再掲 海外向け 海外向け A 科 (歯医 プレスリリース 国際情報発信の強化 科樹大学 15報 30報 60報 統合報告書(Integrate port)を発行 内部質保証と国際情報発 学系 信強化 (再掲) 「統合研究評価 (仮称)」新設 主要事業の効果検証を行 組みを導入 けるプロジェクトへのクロスアポイントメント制の展開 学内クロスアポイントメント制度, 競争的研究費からの研究代表者等の 人件費支出・バイアウト制度の導入, TTI ロスアポイントメント制度の実施 全教員への年俸制の適用 直接経費からの人件費等の支出の拡大 人の拡充によるオーバーヘッド収入の 教育研究基盤への投資強化 「戦略的産学連携経費」の導入, 40%以上の間接経費相当額の確保 東京科学大学 広報戦略の策定, 「統合報告書」の発行 <mark>学長</mark>のリ-ダーシップとガバナンス体制の高度化

広報・基金・地域連携・同窓会連携担当理事中心のプレゼンス向上戦略実施

役員の女性比率を30%以上、DiversityとInclusionの推進とWell-beingの向上業務の見える化や知の共有を基本とする業務改革の推進

高い専門能力を有する職員の増員と教職員の役割再定義,キャリアアップ支援 CFO中心の財務施設本部の設置と持続的成長を実現するための戦略の実施

キャンパス・イノベーションエコシステムの構築

カーボンニュートラルキャンパス実現に向けた取り組み

設計・行政協議

先行整備・行政協<mark>議</mark>

附属高校新校舎建設・移転

田町キャンパス土地活用事業を通した財務基盤強化 土地貸付収入45億円/年(~2100年度)

すずかけ台キャンパス再開発

事業者との共同運営による 大規模インキュベーション

施設の整備

キャン. 間移転

施設の 供用開始

「研究力強化」の取組に包含

ス先行移転整備

プロボストの配置, コスト分析の推進

「マネジメント人材育成プログラム」 「高度専門職員」の創設, 技術職員のキャリアパスの見直し

授業料を改定,超長期投資戦略の立案 大学債発行の検討

田町キャンパス再開発の導入可能性調査, 事業予定者公募・決定,事業協定書を締結

「キャンパス・イノ ションエコシステム 構想2031」の発表

大岡山キャンパス

教育研究基盤発展の自立

化

業理

大工学学

Institute of 東京科学大学 指定国立大学法人構想 **SCIENCE TOKYO** ~第3期中期目標期間 第4期中期目標期間 第5期中期目標期間 2024 2024 財務基盤強化 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 前半 後半 大学運営基金の創設 準特定国立大学 法人申請 大学運営基金の創設 不動産活用事業収益、企業等からの対価としての資源等の組入 法人・大学の成長のための好循環を駆 ビジョン実現研究等を背 動する財務基盤強化のため、大学運営 景とした篤志家・国内外 寄附金獲得に係る取組の拡充 寄附金獲得に係る取組のさらなる充実 京科学大学 基金を創設するとともに、寄附金獲得 企業・財団等への積極的 寄附金獲得額 統合時点の旧二大学の3倍 のための取組をさらに拡充する。 働きかけによる寄附金獲 こうして得た財政的資源を合理的なリ スク分析の下、効果的に運用する体制 資金運用・寄附金獲得に向けた専門人材の増員 科学的評価による許容可 能リスクに基づいた資金 リスク分析と 資金運用試行 科学的評価によるリスク下での 資金運用の発展 資金運用方針 管理方針策定 運用体制の構築 「TMDU サポーターズクラブ **仮称)」新設** 募金額 募金額 大学基金等の受入れの拡 募金額 17億円 24億円 クラウドファンディング、ネー ングライツの実施 2.8億円 (9倍) (6倍) 医学部3)周年事業・大学(歯学部)100周年事業 旧京 東京医院 資産の有効活用 すべての資産の有効活用を更に加速化 データビジネス分野にお 歯医 (再掲 M&Dデータ科学センター新設) (再掲 医療データ活用プラットホーム構築 医療データビジネス展開 科歯 けるビジネス展開 大学 学系 再掲 再掲 再掲 大学発 大学発 大学発 ベンチャ ベンチャ ベンチャ 大学発ベンチャーの創出 50社(10倍) 5社 20社(4倍) (法改正が前提)大学発ベンチャーへ出資 共同研究等実施法人 ₹療コンサルティング会社などを設立

設計・行政協議

「戦略的産学連携経費」の導入,40%以上の間接経費相当額の確保

ファンドレイザーの配置,多様な寄附 メニューの提供,同窓会の協力も得て 基金募集活動を展開

田町キャンパス再開発の導入可能性 調査, 事業予定者公募・決定, 事業協定書を締結

> 授業料を改定,超長期投資戦略の 立案,発行体格付けの新規取得, 大学債発行の検討

> > ファンドレイザー6名 東工大基金残高目標額 41.9億円

東京旧科学

大学 大学系 教育研究基盤発展の自立

化(一部再掲)

連携収入の拡充によるオーバーヘッド収入の 教育研究基盤への投資強化

> 田町キャンパス土地活用事業を通した 財務基盤強化 土地貸付収入45億円/年(〜2100年度)

東工大基金残高目標額 100億円 ファンドレイザー15名 東工大基金残高目標額 150億円 戦略的資金23.4億円/年

高附受入 高内外同窓会との 実際強化・学長(President)を中心とした寄附募集の推進